

活動名 夢サポート ながとリーダー養成講座	団体名	夢サポート ながとリーダー養成講座 実行委員会
	地域	山口県長門市
	代表者	実行委員長 藤本 憲司
	支援金額	32 万円

活動概要															
<p>ライフスタイルの多様化や少子高齢化の中、子どもたちの健全な育成を目指して平成24年度より「夢サポートながとリーダー養成講座」を立ち上げ様々な体験活動を実施してきた。本講座では、長門市内や山口県内における自然体験活動や奉仕活動、各種交流事業を通して、郷土を愛し、将来の長門市を支えるリーダーの育成を目的としている。</p> <p>平成 27 年度までは参加対象を小学校 5・6 年生としていたが、平成 27 年度より、参加対象を中学生にまで広げ、更に市内の高校生をメンバーとするジュニアリーダー、長門高等学校、山口大学との連携のもとキャンパス見学やサイエンスフェスティバルを通じて、小・中・高と大学との縦のつながりを生かした活動を仕組んだ。また、学校における学習に対する意欲の向上やキャリア教育といった視点を入れて活動した。</p> <p>◆実施時期 2015/6/20～2016/1/31 場所：長門市内・山口市内</p> <p>◆参加人数</p> <table border="0"> <tr> <td>6/20</td> <td>79 名(内大学生 40 名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7/25・8/1</td> <td>68 名(内高校生 10 名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9/12・26</td> <td>52 名(内高校生 14 名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10/10・11</td> <td>80 名(内高校生・大学生 20 名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/30・31</td> <td>60 名(内大学生 10 名)</td> <td>参加総人員:339 名</td> </tr> </table>	6/20	79 名(内大学生 40 名)		7/25・8/1	68 名(内高校生 10 名)		9/12・26	52 名(内高校生 14 名)		10/10・11	80 名(内高校生・大学生 20 名)		1/30・31	60 名(内大学生 10 名)	参加総人員:339 名
6/20	79 名(内大学生 40 名)														
7/25・8/1	68 名(内高校生 10 名)														
9/12・26	52 名(内高校生 14 名)														
10/10・11	80 名(内高校生・大学生 20 名)														
1/30・31	60 名(内大学生 10 名)	参加総人員:339 名													



6/20 キャンパス見学の際に山口大学図書館前で撮影



8/21 世界スカウトジャンボリー
海外のスカウトに缶バッジの作り方を教える様子



9/26 サイエンスフェスティバル
参加者にスーパーボールの作り方を教える様子



1/31 歩くスキー
十種ヶ峰に登り昼食を作成する様子

◆実施に伴う効果

- ・市内に大学がないため、普段知り合う機会のない大学生と交流したり、大学施設を見学したりすることで新たな体験や自分の将来について考える機会を得ることができた。
- ・山口大学教育学部と連携したことで、山口大学の教授より「教育学部生の実地研修のよい機会になっている。」と評価され、大学教授の会議等でもその活動を紹介していただいた。
- ・学校関係者から子どもたちが積極的に発言したり、友だちと関わったりするようになったといった感想をいただいた。
- ・参加した子どもたちから「また来年も参加したい。」といった意欲的な感想をいただいた。
- ・市内広域の子どもたちが交流を通して連帯感をもつことができた。
- ・自然体験等により「大人」の思いや願いを知ることで、仕事による自己実現へのヒントを得る事が出来た。

◆苦勞した点

- ・参加者の実費負担を減らすこと
今年度は、貴財団の支援の他に地元の企業や団体に協力を求めることで、参加者の負担（食材費・活動費）を減らすことができた。次年度以降は、企業に活動の内容を理解していただくように、企業へのPR用のチラシを作成し活動への理解を求めていきたいと考えている。
- ・企画・連絡調整
夢サポートながとリーダー養成講座（夢つなぎ塾）のねらいに沿った活動を企画し、協力団体・学校との連絡調整に苦勞した。また、活動日が土・日になるため、地域の行事や参観日等と重なることがあったので、参加対象の児童・生徒が、より参加しやすい実施日を設定していきたいと考えている。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・活動内容の周知
今年度は、「夢サポートながとリーダー養成講座（夢つなぎ塾）」の活動が市内で発行されている市報等にも取り上げていただいた。来年度は、市のケーブルテレビ等にも働きかけ、活動内容のレポート番組編成を提案し、広く市民へ周知できるように取り組むことで、企業の協力や市民の理解につなげていきたいと考えている。
- ・各団体との連携の拡大
今年度は、小・中・高・大の縦の連携や「わくわく土曜塾」などの青少年育成団体との連携ができた。また、地域で活動する「ゆやアウトドアクラブ」や塩工房「百姓庵」、更にサイエンスフェスティバル実行委員会との横の連携により、長門市のよさを感じることができた魅力的で多様な体験をさせることができた。来年度は、地域で活躍する人材や団体との連携をさらに拡大・強化し、長門の自然のすばらしさや人の温かさにスポットを当てて子どもたちによる情報発信に取組みたいと考えている。

◆活動を終えての感想・意見等

本年度は、マツダ財団様から助成金をいただき大変感謝しています。
来年度も、高校・大学を含む学校関係や公民館、地域で活動している団体と連携し、「新たな発見ができる活動」「様々な人とかかわる活動」「長門のよさを感じることが出来る活動」を体験させることを通して、夢を育み前向きに取り組んでいこうとする子どもたちを育てていきたいと考えています。

本年度はご支援をいただいたことに大変感謝しております。ありがとうございました。